

「大正区将来ビジョン2025（素案）」に対するご意見と大正区の考え方

No.	該当ページ	ご意見の要旨	大正区の考え方
1	全般	<p>このたび公表された「大正区将来ビジョン2029（素案）」を拝読しましたが、区の将来を左右する重要課題であるにもかかわらず、地下鉄延伸に関する記述が一切見当たらない点について、強い違和感と懸念を覚えました。</p> <p>大正区は大阪市内でも人口減少と高齢化が特に進行している地域であり、その大きな要因の一つが、鉄道アクセスの弱さにあることは多くの区民が実感している事実です。</p> <p>地下鉄が区北部の大正駅にとどまり、区の大部分が鉄道空白地帯となっている現状は、子育て世代や現役世代の定住・転入を妨げ、高齢化と人口流出を加速させてきたと考えます。</p> <p>将来ビジョンを掲げながら、交通インフラという根幹課題に踏み込まない姿勢は、「将来像」と現実との乖離を感じさせます。少なくとも、地下鉄延伸を区として重要な検討課題と位置付け、その必要性を明確に示すべきではないでしょうか。</p> <p>大正区が独自に中之島に対して地下鉄延伸を求めて欲しい、大正区役所は大正区民の方を向いて仕事をして欲しいと強く要望します。</p> <p>地下鉄延伸は一朝一夕に実現するものではありませんが、区が明確な意思を持って市に働きかけることこそが、将来ビジョンの信頼性を高める第一歩だと考えます。</p> <p>今後の計画修正や検討において、本件が真摯に議論されることを期待します。</p> <p>以上、区民の一人として意見を申し述べます。</p>	<p>ご意見をいただきました長堀鶴見緑地線の大正駅から鶴町までの延伸については、定住・転入促進の一因になるものと認識しています。</p> <p>しかしながら、大阪市鉄道ネットワーク審議会の答申において、収支採算性の観点から現時点では実現が困難と判断されているところです。今後も都市政策の動向などに注視してまいります。</p> <p>一方、大正区はバスの路線数・本数が豊富で、急行バスも整備されていることから、鉄道に代わる交通インフラが充実しております。さらに、新たな交通手段としてシェアサイクル等の利用・普及促進にも取り組んでおり、AIオンデマンドバス導入の社会実験も今後開始される予定です。これらの交通サービスを、まちの暮らしやすさとしてアピールしてまいります。</p> <p>また、人口減少と高齢化が特に進行している中で、大正区の活性化は非常に重要であると認識しておりますので、大正区が持つポテンシャルを最大限に活かした「まちのリノベーション」を推進してまいります。まずは、現在ある地域の魅力を改めて知っていただくことで、大正区のファンを増やし、まちの発展に意欲のある企業・地域団体・商店・区民の皆様とともに、民間主導によるまちづくりを支援し、新たなにぎわいの創出とリノベーションの推進に一層取り組んでまいります。</p> <p>引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>